

# 港北区災害ボランティア連絡会ニュース

事務局 〒222-0032 横浜市港北区大豆戸 13-1 吉田ビル 206 港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX045-531-9561 mail info@kouhoku-saibora.net

HP <http://www.kouhoku-saibora.net> FB 港北区災害ボランティア連絡会

第56号

2017年7月



\* 入会は随時受け付けています。あなたの町の防災度を高めるためにお力を貸してください

## 九州北部に大水害ー各地にボランティアセンター開設予定ー

7月5日からの線状降水帯の影響に寄る大雨は九州北部に大きな被害をもたらしています。RSYやJVOAD、震災がつなぐ全国ネットワークなど各災害ボランティア団体は現地での情報収集に努めるとともに、災害ボランティアセンター開設のサポートをしています。港北区災害ボランティア連絡会としてもできる支援を考えて行きたいと思っています。今後MLやFBで随時情報を流して行きますので、ぜひチェックして下さい。また現在役員会で可能な支援を検討中です。(7月9日段階)

(宇田川)



山間地水害特有の大量の大木が家を飲み込む

## 高田東小学校防災訓練に連絡会として参加

6月24日土曜日に行われた高田東小学校の地域防災訓練に港北区災害ボランティア連絡会が参加しました。



児童は教室で、保護者は体育館で、それぞれ学ぶ

高田東小学校の地域防災訓練は父兄参観日の土曜日の1、2時限を使って、家庭内での避難訓練、近隣での助け合い、地域ごとの災害初動訓練を行うものです。

午前9時に震度6強の地震が起きたとの想定で、児童と父兄はいつとき避難場所に集合します。

いつとき避難場所では町会の役員が避難者名簿を作成し、集団で小学校まで避難します。初めて実施した昨年は、自分の属する町会やいつとき避難場所がわからなかったり、いつとき避難場所での避難者名簿の記入が混雑するなど多々問題がありましたが、2度目の今年はスムーズにできました。やはり訓練することは大切です。しかしいつとき避難場所で児童を預けて、自分は自宅に戻ってしまう保護者が少なからずいたそうです。

各ご家庭の都合はあるでしょうが、訓練に参加することで得るものがあると思っていただけるようにしたいです。

小学校では、児童はそのまま教室に入りますが、父兄は避難所となる体育館に入ります。町会ごとに到着時間が異なるので、全員が集合するまでDVDで阪神淡路大災害の映像を視聴しました。ビルや高速道路が崩れたり、大火災が発生したり、家具が倒れて室内がメチャメチャになったり、かなりショッキングな映像でした。

全員が集合した10時から、港北区災害ボランティア連絡会の宇田川副会長が家族の生命を守るために家庭の防災がいかに大事かという話をしました。我が家の備えはどうだろう？というアンケート用紙に記入して自宅の災害対策を考えてもらいました。

毎年の防災訓練にまず参加しない若いお父さん、お母さんですので、防災には無関心で、家具の転倒防止や食料、水の備蓄もほとんど行われてはいないようでした。

日頃防災に無関心な若い世代の方々に、家族の生命を守るための自宅の防災の必要性を訴える良い機会だったと思います。

教務主任の先生から、とてもよかった、来年もぜひお願いしたいとのお言葉をいただきました。  
(山本)



地区ごとに並んで災害の実際と対応を学ぶ

校内に入るのは初めてでしたが、学校の立地や3階という条件での階段の昇り降り等踏まえると避難先としては非常に難しいと改めて感じました。また、特に水や食料等それぞれの自宅での備えをしているという方がほとんどいなかったのは驚きました。それだけに、今後啓発の機会があればその意義は大きいとも感じました。今後も各地域拠点とのつながりを大事に進めていきたいです。

(藤原)

## 横浜ボランティアネットワーク 会議総会 報告

6月15日に開催された横浜災害ボランティアネットワーク会議の総会は、第一部が学習会として、危機管理教育研究所の国崎伸江さんの講演、第二部が総会という構成でした。

## 国崎さんの講演から学ぶ

「災害時における女性やこども等要支援者のボランティアニーズとは」と題して熊本地震での活動報告を中心に話されたことから教訓を考えてみました。

### 1 避難所運営に多様な配慮を

世の中には若い人も居れば、病人もおり、障害者や外国人もいる、そんな当たり前のことが避難所では忘れられることが良く有ります。大変な時なんだから我慢して、と言われみんな大人しく従う。それではストレスが溜まるし、我慢しきれない人は体調を崩して入院したり、車中泊をせざるを得なくなったりしています。熊本地震の直接死50名に対し、災害関連死は170名に上ります。

### 2 福祉避難所の開設

益城町ではトレーラーハウスを福祉避難所や救護室として使用しました。熊本学園大学の事例も有名です。ただし福祉避難所は入れ物だけを用意しても介護体制が整わなければやはり利用しにくいものです。その体制作りまで議論を発展させることが必要です。

### 3 住み心地の良い避難所作り

段ボールベッドや間仕切りなどは出来るだけ早く導入することが求められます。段ボールベッドは水のペットボトルが入っていた段ボールなどをガムテープで固定するだけで作ることが出来ますから、必要度の高い人からどんどんと提供するのが良いでしょう。



段ボールベッドは足腰の弱い方などには必須間仕切りもプライバシー確保のため導入が進められて来ましたが、残念な弊害も表れました。締め切りにすることで交流が無くなること、また人目が届きにくくなるため泥棒の被害が発生することです。それを避けるために昼間はカーテンを開け



ておき、みんなが集まれる喫茶スペースなどを作り、閉じこもりを回避する工夫も必要です。

(宇田川)

## ■ 7月定例会のお知らせ ■

7月の定例会は夜間開催です。

7月19日(水) 18:30~

普段お仕事で参加できない会員の皆さん、ぜひ参加してください。

## 各タスクメンバー・計画決まる

\*メンバーの中で名前が漏れていたり、まだタスク登録をしていない方は各リーダー又は事務局までお願いします。 全員参加を！

### ◎シミュレーション

メンバー：山本(正・リーダー) 古川、坂上、中島(美)

活動予定

- ・ハンドブック修正-8月中旬に坂上さんから提案
- ・定例会で訓練-9月から実施
- ・定例会前の1時間で打ち合わせを行う
- ・本年度のシミュレーションの内容を見当する
- ・9月8日午後1時~ ハンドブック確認
- ・9月15日午後1時~ 印刷

### ◎PR

メンバー：宇田川(リーダー)、中島、室伏、付岡、木村、古川

活動予定

- ・毎月のニュース発行
- ・連絡会紹介と会員登録を兼ねたリーフレット作成
- ・当面の部会予定 7月24日、8月29日 各18時より

### ◎イベント

メンバー：白井、小澤(リーダー)、鈴木(智・サブリーダー)、小松、山口

活動予定

- ・常総市とのつながりを強くする
- ・被災地との連携

<具体案>

- ①常総市がどんな支援を必要としているか

具体的に現地の方(juntos横田さん、染谷さんなど)に何が必要か聞いてみる

8/11(金)(祝日・山の日) 18:45~20:40

第53回常総きぬがわ花火大会

→そこに観光で行く(バス?電車?)

②被災地との関係

セミナー 日程変更 12/2(土)→11/26(日)

常総市社協の方をお招きして、ボラセン立ち上げに関する具体的な事例等を話していただく。

## どろっぷデー 参加!

6月10日(日)恒例の「どろっぷデー」で物販活動をしました。会場は、昨年運営訓練でお世話になった太尾防犯拠点センターです。当日はととても暑く、暑さを見込んで仕入れた陸前高田の“マスクットサイダー”でしたが、アット言う間に完売しました。

どろっぷデーに訪れている皆さんは、小さいお子さんのパパやママがほとんどで、「災ボラ?」の質問はあまりなく、こちらからニュースを配布しながら被災地支援や災ボラの活動の自己財源確保のために、物販を提供していることをお話しました。



連絡会のPRをする藤原さん

「どろっぷ」

にはBOSAIくらぶがあり、月1回来場者と一緒に防災訓練をされています。会場に大勢の皆さん集まる中、一瞬「大地震が今来たら!」と思うと、どんな行動が出来たか少し不安になりました。地域の皆さんにも災害のことを今以上に考えていただき、私も含め生活の見直しをしたら良いのかと思いました。(付岡)

## 坂上さんちの防災

結婚して子供が生まれてから30年以上非常持ち出しカバンを準備しています。まだ紙おむつが高価だった時代でしたがこのかばんの中には紙おむつが入っていました。簡単な着替え・水・非常食・お金・懐中電灯・救急セット等です。冬用、夏用で入れ替えています。時代とともにテレホンカードやろうそくは消えました。

3.11の時、私は都内にいました。たくさんの人に助けってもらったので、人のつながりが一番と感じました。横浜まで歩いて帰った経験から、ヒールの靴は履かなくなり、カバンの中身が増えました。携帯電話の充電器・水筒・飴・お菓子・常備薬・タオル・冬はカイロも… バッグは重くいつも肩こりです。でも小さいバッグで出かける不安でたまりません。お風呂の水は入る前に抜いて掃除します。トイレにも水道が止まってしまった時のために、空きペットボトルに水を入れて3本置いてあります。

そして災ボラの会員になってから、保存食と一緒に、お米・水・カセットコンロ・野菜ジュース缶・



熱に強いビニール袋はまとめて保存するようになりました。

目下の悩みはガラス扉満載のキャビネット。飛散防止フィルムを張ると見栄えが・・・とあって、いしましたが何とかしないと。

(手話サークルあじさいの会 坂上茂子)

## 改正された個人情報保護法と連絡会

個人情報保護法が制定されてから、個人情報は集めてはいけないような誤解まで生じています。保護されるべき個人情報は、氏名、住所、電話番号など特定の個人で有ると分かる内容をさします。改正後は全ての団体に個人情報保護法が適用されることになりました。私たちは災害時には多くの情報を集めて被災者支援に役立てなければなりません。ですからこの法律の趣旨を良く理解しておくことが求められます。その際押さえるべき大事な点は以下のとおりです。

- 1 使用目的を特定する。
- 2 収集するには使用目的を明確に説明する。
- 3 管理にあたっては紛失や盗難等に合わないよう気をつける。

連絡会では既に電話連絡網を会員に配布し、緊急連絡の際に活用して来ましたが、会員名簿については配布して来ませんでした。しかし会員がどこに住んでいるかも分からない状態はお互いの関係をより深める上でも、また万が一の場合の安否確認に置いて問題があると云えます。そこで今年度から会員名簿を配布することを役員会で決定し、定例会でも了解されました。ここには氏名、住所、電話番号、メールアドレスが記載されています。団体会員の場合は会に登録している連絡先が記載されます。

会員個人においては、個人情報保護法の上記の趣旨をご理解いただいた上で、保存についてご留意いただくようお願いします。またどうしても自分の情報は記載して欲しくないとおっしゃる方は事務局までご連絡ください。その場合には氏名だけの記載とします。そのご連絡は今月中にお願いいたします。

(役員会)

### \*編集後記\*

☆今まで、字の間違いとレイアウトへの意見で参加していましたが、今回初めて編集をしました。準備をしていたら、九州の大雨で土砂災害が発生しました。私の頭の中も土砂災害です。(T)

☆編集スタッフ 中島(一)、室伏、付岡、宇田

# 重要なお知らせ！！